要件定義

		大阪CBT試験センター試験会場 (ステーションプラザハ尾南2F-C)	大阪CBT試験センター試験会場 (ステーションプラザハ尾南2F-B)
	エントランス、受付、	208.63㎡(63.11坪)	71.94㎡(21.76坪)
面積等	待機スペース、監視 室、試験室	(内訳) 最終レイアウト及び詳細設計にて決定 天井高:2635mm~2650mm	(内訳) 最終レイアウト及び詳細設計にて決定 天井高:2635mm~2650mm
CBT試験室		7(7) Eg - 2000mm 2000mm	X// [L] * 2000
	机の数	30	18
	机のサイズ	幅1000mm x 奥行600mm x 天板高さ720mm(衝立高さ1200mm以上)	同左
	昇降机	30台のうち1台	不要
	椅子の数	30	24
	椅子の仕様	背もたれ・高さ調整・キャスター付き、ひじ掛け無	同左
		高さ1200mm、 奥行700mm以上(受験者が隣の席のPC画面を覗くなどの不正行為をしにくいように机の 奥行(600mm)+100mm以上の奥行とする)	同左
		・監視室で、不正行為がないか監視するため、CBT試験室内のすべての受験者の試験中の状況が、監視室内に設置するモニターで、モニタリングできるように監視カメラを設置すること。 ・監視カメラは、すべての受験者の手元がモニタリングできる位置に必要台数を設置すること。 ・CBT試験室内で受験者が話した場合に、音声もモニターできる仕様のものとする。 ・モニタリング動画を音声も含めて録画・録音できること。動画の保存期間は30日。 ・OTAFFの東京本部事務所でも各OTAFF専用会場のモニタリング状況を確認できること。	同左
	L CBI試験室内の る B B E E E E E E E E E E E E E E E E E	監視員が、CBT試験室内のすべての受験者について、不正行為がないか、一定の時間間隔で、巡回監視するので、巡回監視に支障のない通路幅を確保すること(机と机の間隔、壁と机の間隔等)	同左
	CBT試験用 ネットワーク環境	・安定して試験配信ができるよう、試験会場専用回線を配線する(OTAFFがNTT等に申し込む)。 ・試験配信端末となる受験者用PCはLAN回線(Category 6A)でつなげる。 ・試験配信用のネットワークは、他の業務用の回線と論理的な独立を確保する。 ・試験配信方式(配信の冗長化含む)は次の方式を前提とし、配信の安定性およびセキュリティが担保されることを必須条件とする。 ・ネットワークに必要なルーター、ハブを設置する。 [試験配信方式:インターネットを通じて、当日配信予定の試験問題を前日までに試験会場に設置するファイルサーバー(CBT配信事業者からOTAFFに2台貸与)に落とし込み、当日に同サーバーから受験者用PCに配信する。ファイルサーバー1台にPCは20台まで接続] ・同サーバーに不具合が発生し、同サーバーから受験者用PCに配信できない事態が発生した場合は、インターネットを通じてCBT配信事業者の本部サーバーから受験者PCへ配信する方式に一時的に切り替える(配信の冗長化)・サーバーは監視室内または、2F-C内の事務室(または要員詰所)内にサーバーラック(セキュリティボックス)で設置・管理する。UPS(無停電装置)から電源供給する。3Fから地下 I Fの技能実習の部屋に縦配管にてひかり配線工事を実施、ネット環境 A P設置及び防犯カメラの設置をする	同左
	試験用端末PC	※試験用端末については別途OTAFFが調達 (納品日調整と設置作業は、本件施工事業者が施工管理業務の一部として行う。)	同左
	I トランルはのCOII	試験中にPCが固まるなどの不具合が発生した場合に、係を呼ぶためのcallスイッチをすべての受験者席に設置	同左
	仕切り工事	・壁と扉は防音施工(CBT試験室に音漏れがしないこと) ・「監視室・撮影室」とCBT試験室の間は、スライドドアで出入り ・防音は、D-50・T-2レベル以上を <u>目安</u>	2F-Cとの間に通路として有効通路幅900mm以上のスライドドア(防音仕様)を設置(B工事となる場合あり)
	電気工事	OAタップ、系統分け工事(系統図提出)	同左(2F-Cとは独立)
	OAフロアエ事	同左(高さ50mm)	不要(高さ50mm)
監視室・撮影 室	机の台数	2台(受験者の顔写真撮影用I台、監視用I台)	不要
	机のサイズ	写真撮影用:幅 000mm x 奥行600mm x 天板高さ720mm (CBT配信事業者のシステムにネットでつながったPCで、受験者がCBT試験室に入る前に 顔写真を全員撮影する。机の上に、PCとPC接続したカメラと照明器具を設置) 監視用:幅 500mm x 奥行750mm x 天板高さ720mm (2人座ることがあるので、2人座れる横幅を確保。モニターが 台で済まずに2台必 要になることも考慮した横幅とする)	不要
	椅子の台数	写真撮影時の受験者用 I 台 撮影時の係員用 I 台 監視員用 2 台	不要

	椅子の仕様	写真撮影時の受験者用:背もたれ付き、キャスターなし 撮影時の係員用:背もたれ・高さ調整付き・キャスター5本足 監視員用:背もたれ・高さ調整付き・キャスター5本足	不要
	監視用モニターサイズ	・全受験者の受験時の様子がモニタリングできる適切な大きさのものを必要台数調達し 設置すること	不要
		①すべての受験者をモニタリングするために監視カメラを何台設置するのか ②監視カメラサービスの提供事業者の仕様で、モニターに最大何分割で表示されるのか ③ ①と②を踏まえて、監視モニターの必要台数を検討すること	,
	監視用PCなど	・監視用PC本体については別途OTAFFが調達(納品日調整と設置作業は、本件施工事業者が施工管理業務の一部として行う。) ・試験中に受験者からcallがあった場合に、callを押した受験者の座席番号がわかるように必要な機器を設置	不要
		監視室において、CBT試験室内設置の監視カメラにより撮影された試験中のすべての受験者の映像と音声を監視員が常時モニタリングできること	不要
		LAN配線はCategory 6Aを使用。CBT配信事業者の予約管理システムに接続するので、受験者撮影用PCはLAN回線でつなぐこと	不要
	撮影場所の要件	撮影時専用照明(OTAFFにて調達) 金属探知機(ハンディタイプ、OTAFFにて調達) 金属探知機が反応し、下着の下にスマホ等を隠し持っているなどの不正の疑いがあった 場合に、係が確認する。その際に、カーテンで仕切る必要があるので、撮影場所でそれ ができるようにカーテンレールとカーテンを設置する。 カーテンは、使用しないときは撮影の邪魔にならないよう束ねておけるようにする。	
	仕切り工事	・壁と扉は防音施工・試験室との間にガラスパーティション。監視室と待合室はスライドドアで出入り ・防音は、D-50、T-2レベル以上を <u>目安</u>	不要
	電気工事 0Aフロア工事	OAタップ、系統分け工事を行う。 不要 (約5 Omm)	不要
	その他	サーバーラック、UPSの設置(監視室または事務室(要員詰所))	サーバーラック、UPSの設置(監視室または事務室(要員詰所))
事務室(要員語所)	机	・休憩用兼打合せ用の机 I 台(4人が座れる程度の大きさ) ・ノートPC用の電源タップ必要	
	椅子	4 (背もたれあり、キャスターなし、重ねて置けるタイプ)	
	ロッカー	4人+予備2人分のロッカー(上着、コート収納に適当な大きさ)	- - - - 不要
	キャビネット	I台(W880×D400×H1850)	
	印刷・コピー機 ネットワーク環境・電	日台(OTAFFで調達)、電源タップ必要、LAN回線接続必要	
		3階から固定電話を移設、光回線を2階へ引き直し	
エントラン	その他	サーバーラック、UPSの設置(監視室または事務室(要員詰所))	
ス、受付、待機スペース	受付台	・ 台(2人が並べるくらい) ・受付用のPCを設置、電源とLAN回線接続必要 ・試験中に受験者からcallがあった場合に、callを押した受験者の座席番号がわかるように必要な機器を設置	・演台I台(可動式)
	椅子の台数	2	不要
	椅子の仕様 ネットワーク環境	背もたれ・ひじ掛け付き・キャスター5本足 受付台周辺のみ有線LAN	背もたれ・ひじ掛け付き・キャスター5本足 不要
	受付業務用のPC	日台(調達は、OTAFFが行うが、納品日調整と設置作業は、本件施工事業者が施工管理業務の一部として行う。)	不要
	ロッカー	・CBT試験室(2F-Bと2F-Cの合計)の席数と同数+予備2個程度のロッカーを設置すること ・受験者のカバン、所持品、冬場のコートを収容できる大きさのものとする ・ロッカーのカギはシリンダー錠とする	不要
	待機用椅子	CBT試験室(2F-Bと2F-Cの合計)の席数の9割の人数が座れるよう、長椅子を配置する	不要
	ウォーターサーバー	待機中の受験者用にウォーターサーバーを適切な位置にI台設置できるようスペースを確保し、電源コンセントを設置(申込は引き渡し後にOTAFFから)	不要
	案内板	不要(B工事で施工)	同左
	救護スペース	不要	不要
その他	施工管理関係、その他	・ネットワーク構築工事(3F-HBとI-B間へのWIFI設置を含む)を含めて、全体の施工管理を一元的に行えること ・図面、工程表、工事申請書の提出、工事にあたって、ビル管理会社及びB工事指定工事業者と連携し、施工管理を行うこと ・OTAFFから要請がある場合は、専用回線のNTT申込などの各種申請のサポートも行うこと ・3F-H既存事務所の什器(机、ロッカー)の2F-C事務室への移設 ・3F-H既存事務所の電話回線を2F-C事務室へ移設。移設後はWIFIでBI・2F・3Fと 通信できるようにする	

想定間仕切り レイアウト図







